

洲本外町地域まちなか再生区域まちなか再生評価書

1 まちなか再生区域の概要

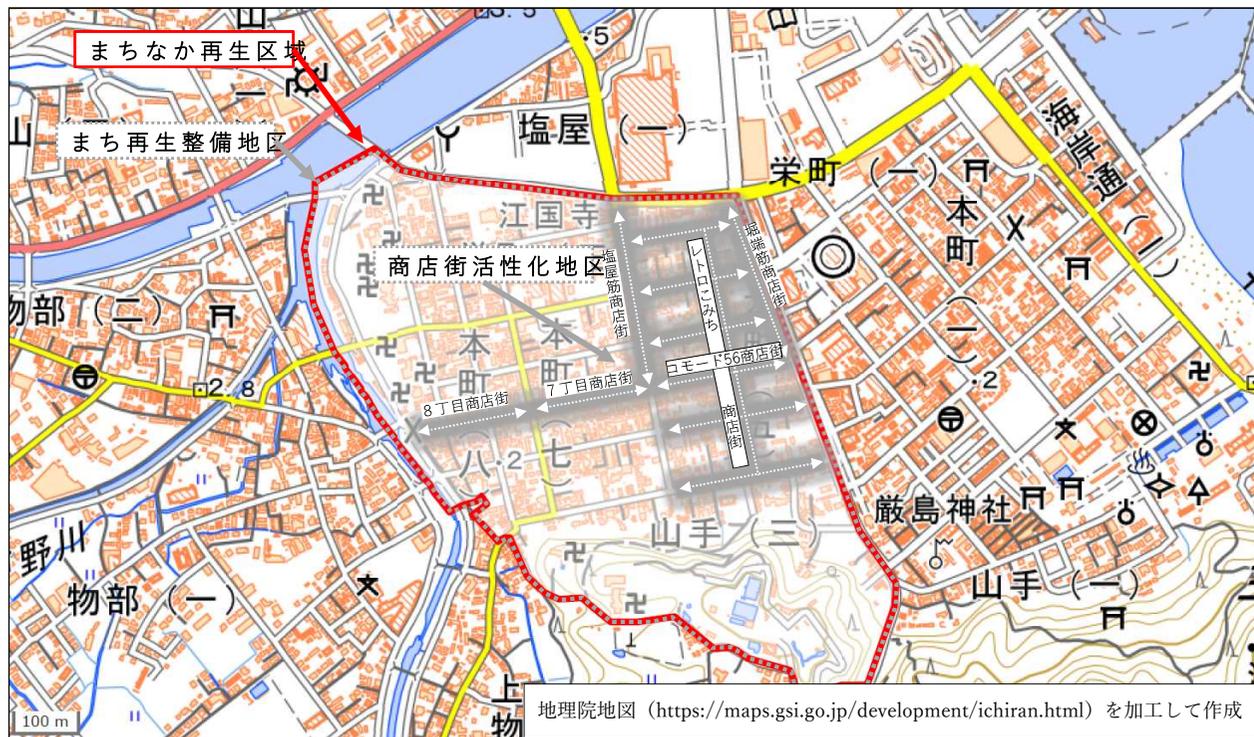
名称	洲本外町地域まちなか再生区域
指定年月日	平成30年4月27日
区域面積	約42.5ha

2 まちなか再生協議会の概要

名称	洲本外町地域まちなか再生協議会
設立年月日	平成30年5月15日
団体構成	洲本市商店連合会、外町連合町内会、本町五六商店街協同組合、本町七丁目商店街振興組合、社会福祉法人洲本市社会福祉協議会、塩屋筋商盛會、洲本市本町商店街振興組合、八栄会、堀端筋振興會、レトロこみち協同組合、外町老人クラブ連合會、外町連合婦人會、城下町洲本再生委員会、洲本寺町會、洲本商工會議所

3 まちなか再生計画の概要

名称	洲本外町地域まちなか再生計画
策定年月日	令和元年5月21日
目標	『ヒトとコトが、よりあうマチへ』 地元から生まれた地元ならではの取組をどんどんカタチにして、洲本外町をみんなで盛り上げていく
活動方針	そとまちなかへえとこ伝えよう そとまちなかのまごごろを届けよう そとまちなかでもつながろう そとまちなかにええこと集めよう



地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>) を加工して作成

4 活用したまちなか再生事業等

事業名称	①まちなか再生アドバイザー派遣事業	②まちなか再生協議会等運営支援事業	③商店街活性化事業															
認定年月日	-	-	令和4年6月1日															
事業期間	平成30年度～令和4年度	平成30年度～令和4年度	令和4年度～令和7年度															
概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>派遣回数</th> <th>年度</th> <th>派遣回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年</td> <td>30回</td> <td>令和3年</td> <td>16回</td> </tr> <tr> <td>令和元年</td> <td>30回</td> <td>令和4年</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>26回</td> <td>計</td> <td>114回</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> まちなか再生計画策定 広報誌発行 より☆そとユニバーサル（社会実験） 移住・定住の促進 空き店舗等での店舗開業促進 歴史的町並み調査 	年度	派遣回数	年度	派遣回数	平成30年	30回	令和3年	16回	令和元年	30回	令和4年	12回	令和2年	26回	計	114回	<ul style="list-style-type: none"> 商店街に存する空き店舗への新規店舗（移転を含む）の出店を支援 再編店舗開業支援事業（内装工事費等） 再編店舗円滑化事業（店舗賃借料）
年度	派遣回数	年度	派遣回数															
平成30年	30回	令和3年	16回															
令和元年	30回	令和4年	12回															
令和2年	26回	計	114回															
事業費（県・市補助額）	5,700千円（派遣回数114回）	7,093千円	3,678千円 [1件]															

5 5年間で実施した主要な活動

事業内容		写真
より☆そとユニバーサル、より☆そとドッグラン等の取組	<p>目的： これからの社会において必要なユニバーサルの観点から、現状この地域にどのようなバリアがあるのか、どんな魅力があるのかについて、車イスでのまち歩き体験により調査し、全ての人が暮らしやすいまちづくりの参考とする。また、子育て世代が子供やペットと共に楽しめる空間の整備を目指し、種々の公園機能の有効性を確かめるため、商店街の空き地を利用した仮設のドッグランを開設するなど、様々な社会実験等を通じて地域の課題抽出・魅力発見に役立てる。</p> <p>成果： ワークショップを開催し、様々な業種に方からの意見を取り入れながら上記の社会実験等を実施することで、地域の持つ魅力や課題について確認することができた。また、今回の取組について周知するための広報誌を作成し、近隣住民等に配布することで、取組内容や課題認識の共有を図った。</p>	
事業費 71千円		
事業期間 平成30年度	課題：	
移住・定住の促進	<p>目的： 外町地域で暮らすメリットや暮らしの情報を移住希望・検討者に提供し、移住者を増加させる。そのため、洲本まちなか暮らし相談窓口を設置し、地域での暮らしに関する情報を提供できる仕組みを整備する。</p> <p>成果： 相談窓口を設置により1年間で40件の相談実績があったほか、東京・大阪での移住キャラバン（移住相談イベント）において、農業や田舎暮らしに関心を持つ移住希望者に洲本市の魅力やPRすることができた。また、関東圏でも淡路島への注目度が高く、洲本市の子育て支援や移住支援策などを活用した移住者が期待できることが分かった。市と連携して進めている「まちなか暮らし情報」のクラウド化では、市や観光協会など、関連団体のホームページやSNSを活用した観光客の増加が期待できる。</p>	
事業費 626千円	課題： 淡路島の注目度が高まっており、洲本市への移住者をさらに増やすため、「移住フェア」への参加回数を増やし、市ならではの魅力や支援策（子育てや移住）を広くPRしていく必要がある。	
事業期間 令和3年度～令和4年度		
空き店舗・空き家等での店舗開業促進	<p>目的： 商店街にある賃貸可能な空き店舗・空き家物件の掘り起こしを行い、エリアに不足している業種・業態を誘致する。そのため、当エリアでの出店メリットの訴求や出店検討時から出店後に至るまでのまちぐるみでのサポート体制の整備を進める。</p> <p>成果： ワークショップを通じて空き店舗の利用や利用者の募集の方法について検討したことや、空き店舗ツアーの開催等の取組を行った結果、商店街になかったパン屋の開業につなげることができた。これにより新たな顧客を商店街に呼び込むことができるとともに、商店街活性化地区に店舗が集約されることで地域の魅力アップが図られ、賑わいの創出が期待できる。</p>	
事業費 1,761千円		
事業期間 令和3年度～令和6年度	課題： 更なる店舗を呼び込むため、補助金等の支援制度の周知を強化していく必要がある。	
歴史的町並み調査	<p>目的： 区域内に存する歴史的な建造物を把握するとともに、その他工作物、環境物件、既存のまちづくり施策なども分析し、地域資源としての歴史的町並みの位置付けや観光活用策等を検討する。また、調査結果に基づき、再生方策の提案や洲本のまちの魅力についての報告会・シンポジウムを実施する。</p> <p>成果： ・まちのシンボルとなる建造物の掘り起こし 約280件の歴史的建造物が確認でき、そのうち62件については特にシンボル性が高いものと認められた。 ・歴史的風土の魅力と価値を発見 江戸期に城下町が形成されて以降、大きな戦災や開発の影響を受けていないことから、街路や水路の配置形状がよく保たれていることなど、古都が持つ魅力を発見することができた。</p>	
事業費 1,100千円	課題： 歴史的建造物を観光資源として生かすため、官民一体で景観整備を行い、まちの活性化につなげる必要がある。今後は内町地域の調査実施も検討するなど、城下町全体の活性化に取り組む。今回発見した62件のシンボルとなる建造物について、保存していく仕掛けが必要。	
事業期間 令和4年度		

6 まちなか再生協議会によるまちなか再生事業における自己評価

外町地域が持つ様々な魅力と協議会活動の報告を盛り込み、広報誌（フリーペーパー「そとより」）を発行するとともに、インターネットを活用した情報発信に精力的に取り組んだ。紙面等の都合上全ての店舗を紹介することができなかったこと、補助金に頼らない情報発信の体制確立に至らなかったことについては、今後の課題と考えている。

移住・定住の促進では、相談所を開設し継続的に運営できている。更なる相談者を誘引するため、まちなか暮らしファイルの拡充に取り組んでいきたい。また、県外で開催された「移住フェア」では関東圏等でも十分な需要が見込まれることが分かった。洲本市への移住者をさらに増やすため、「移住フェア」への参加回数を増やすとともに、洲本市ならではの魅力や支援策（移住や子育て）を広くPRしていきたい。

また、歴史的町並み調査で発見したまちのシンボルとなる建造物の保全・活用に官民一体となって取り組み、地域の魅力アップにつなげるほか、今後は調査対象とする範囲を拡大し、他の地域の地域資源の掘り起こしも進めていきたい。

<参考：まちなか再生協議会等運営支援事業 補助対象経費（単位：千円）>

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	計
まちなか再生計画策定費	1,350	660	500			2,510
広報紙作成費	572	495	560	440	461	2,528
社会実験・実証実験費、各種調査費	71	1,361	1,534	622	401	3,989
より☆そとユニバーサル・ドッグラン	(71)					
キャッシュレス事業		(61)				
ボンボリ事業、歴史調査等		(993)	(1,328)			
共同利用が可能な既存施設調査				(495)		
移住・定住の促進				(125)	(401)	
先進地視察費	261	7				268
事業推進費	510	178	400	1,256	1,827	4,171
空き店舗・空き家等での店舗開業促進				(1,034)	(727)	
歴史的町並み調査					(1,100)	
事務所借上費、会場使用料	250	300		33	65	648
資料作成費			35	42	40	117
計	3,014	3,001	3,029	2,393	2,794	14,231